

研究紀要第 卷 第 号 割付確認リスト

投稿者氏名：	確認日 /	確認者氏名：	確認日 /
--------	-------	--------	-------

チェック項目		投稿者 チェック欄	編集者 チェック欄
書式・体裁・見出し	1 ページ当たり， 42 字×40 行とする。		
	アブストラクト（要旨），図表を含めて16 ページ以内とする。		
	表題は2行目から書く。（表題：MS 明朝 16pt，副題：MS 明朝 12pt）		
	著者氏名は，表題又は副題の後1行あけて書き，（MS 明朝 12pt 中央揃え）日本語要旨又は本文は，著者氏名の後2行あけて書く。（MS 明朝 10.5pt）		
	全角コンマ（，）と句点（。）を使用する。		
	大見出しは，3行分をとりその2行目の中央に書く。（MS ゴシック・Arial 12pt）		
	中見出しは，1行空け，左端に寄せる。（MS ゴシック・Arial 11pt）		
アブストラクト（要旨）・キーワード	欧文アブストラクト	位置は，巻末，欧文表題と著者氏名の下に書く。	
		欧文表題は16pt、副題・欧文著者名は12pt（姓は小型英大文字），字体はCenturyとする。	
		中央に Abstract（字体：Arial 12pt）と書き，1行あけの後に文章を続ける。	
		文量は1ページ以内とする。	
		文頭は，半角5スペース空け，左右は4文字（半角8スペース）空ける。	
		【Key words】は Abstract の後に，1行あけて記入する。（Century 10.5pt）	
	日本語要旨	位置は，巻頭，表題と著者氏名の下に書く。	
		文頭に【要旨】と書き，2字あけの後に文章を続ける。	
		文量は，キーワード，脚注を含めて割付ページの第1ページに入っている。	
		【キーワード】は，要旨の次の行に1行あけて記入する。	
その他	脚注は直前を1行あけ，受理年月日，ひらがな表記での氏名及び大講座名（専門分野名）を記入する。		
	英文表題は，冠詞・前置詞・接続詞以外の全ての語の頭文字を大文字で書く。		
	ローマ字著者氏名は，姓をスモールキャピタル（小型英大文字）にする。		
	図表と本文との間は，上下1行，左右2文字分空けること。		

※投稿者は太線の枠内をご記入ください。

研究紀要第 巻 第 号 割付確認リスト

投稿者氏名：	確認日 /	確認者氏名：	確認日 /
--------	-------	--------	-------

チェック項目		投稿者 チェック欄	編集者 チェック欄	
書式・ 体裁・ 見出し	1ページ当たり、31字×27行×2段とする。			
	アブストラクト（要旨）、図表を含めて16ページ以内とする。			
	表題は2行目から書く。(16pt)			
	著者氏名及び所属（括弧書き）は、表題又は副題の後1行あけて書き、日本語要旨又は本文は、(大講座名・専門分野名)の後2行あけて書く。			
	読点（、）と句点（。）を使用する。			
	大見出しは、3行分をとりその2行目に、4字空けて書く。			
	中見出しは、1行分空ける。			
アブ ストラ クト (要旨) ・ キー ワード	欧文 アブ ストラ クト	位置は、巻末、欧文表題と著者氏名の後に書く。		
		欧文表題は16pt、副題・欧文著者名は12pt(姓は小型英大文字)、字体はCenturyとする。		
		中央にAbstract(字体:Arial 12pt)と書き1行あけた後、文章を続ける。		
		文量は1ページ以内とする。		
		文頭は、半角5スペース空け、左右は4文字(半角8スペース)空ける。		
		【Key words】はAbstractの後に、1行あけて記入する。(Century 10.5pt)		
	日本 語 要 旨	位置は、巻頭、表題と著者氏名の後に書く。		
		文頭に【要旨】と書き2字あけの後に文章を続ける。		
		文量は、キーワードを含めて割付ページの第1ページに入っている。		
		【キーワード】は、要旨の次の行に1行あけて記入する。		
そ の 他	引用文献の後に受理年月日、ひらがな表記での氏名を記入する。			
	英文表題は、冠詞・前置詞・接続詞以外の全ての語の頭文字を大文字で書く。			
	ローマ字著者氏名は、姓をスモールキャピタル(小型英大文字)にする。			
	図表と本文との間は、上下1行、左右2文字分空けること。			

※投稿者は太線の枠内をご記入ください。

研究紀要第 卷 第 号 割付確認リスト

投稿者氏名：	確認日 /	確認者氏名：	確認日 /
--------	-------	--------	-------

チェック項目		投稿者 チェック欄	編集者 チェック欄
書式・ 体裁・ 見出し	1 ページ当たり，84 ストロークス×40 行とする。		
	アブストラクト（要旨），図表を含めて16 ページ以内とする。		
	表題は2行目から書く。（Century 16pt）		
	著者氏名は，表題又は副題の後1行あけて書き，アブストラクト又は本文は，著者氏名の後2行あけて書く。		
	改行したとき，文頭を5スペースあける。また，文の終わりのピリオドの後は2スペース空ける。		
	大見出しは，3行分をとりその2行目の中央に書く。		
	中見出しは，2行分をとり左端に寄せる。		
欧文 アブ ストラ クト	位置は，巻頭，表題と著者氏名の下に書く。		
	中央に Abstract (字体:Arial 12pt) と書き1行あけた後，文章を続ける。		
	分量は，キーワード，脚注を含めて割付ページの第1ページに入っている。		
	【Key words】 は，アブストラクトの次の行に1行あけて記入する。		
その他	脚注は直前を1行あけ，受理年月日，漢字・ひらがな表記での氏名及び大講座名（専門分野名）を記入する。		
	表題は，冠詞・前置詞・接続詞以外の全ての語の頭文字を大文字で書く。		
	著者氏名は，姓をスモールキャピタル(小型英大文字)にする。		
	図表と本文との間は，上下1行，左右2文字分空けること。		

※投稿者は太線の枠内をご記入ください。